

令和7年度 学校園評価(関係者評価)シート

学校園名	加古川市立東神吉こども園
------	--------------

1 教育目標 「わくわく心 いきいき体」

2 指導目標

- ・基本的な生活習慣を身に付け、健康な心身を育む。
- ・いろいろな人と関わる喜びを感じ、信頼感を育てる。
- ・身近な自然とふれあい、好奇心や探求心を育む。
- ・どんなことにも挑戦し、やろうという意欲を育てる。

3 重点目標

- ・基本的な生活習慣を身に付ける。
- ・身近な自然に親しみをもつ。
- ・自分らしさをのびのびと表現する。
- ・友達や保育教諭と一緒に遊ぶ楽しさや思い切り体を動かす心地よさを味わう。
- ・最後まで諦めずにやろうとする意欲をもつ。

評価基準

A:できている B:だいたいできている C:あまりできていない D:できていない E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策
基本的な生活習慣を身に付ける	<ul style="list-style-type: none"> ・健康的な生活の仕方を知る。 ・自ら進んで挨拶をする。 ・衣服の着脱、手洗い、うがいなど身の回りのことを自分でしようとする。 ・苦手なものでも食べてみようとする。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回ハッピースマイルデーと名付けた挨拶運動を年長児が登園時に当番で門で挨拶をして迎え入れる活動を取り入れた。年長児が積極的に挨拶する姿が見られる。他の学年も自分から挨拶することが多くなった。また、保護者も喜んで挨拶するようになっている。今後も継続していきたい。 ・発達年齢に応じた生活習慣が身につく指導が必要と感じるが個人差も大きく、家庭との連携を図りながら自立支援を支えていく。 ・乳児から野菜栽培、収穫を経験する機会をもち食べ物や食べることへの興味につながっている。苦手なメニューも、「一口は食べてみる」という意識が芽生え、摂取量も増えてきた。

自己評価の適切さ(関係者評価)	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ・来園すると元気に挨拶してくれる姿が見られ、園での取り組みが習慣づいていると感じる。 ・各クラスのこども達の様子を見て活発に、元気に園生活に取り組んでいる。 ・基本的な生活習慣は家庭での指導も必要。家庭との連携も大切に進めてほしい。 	A

<p>友達や保育教諭と一緒に遊ぶ楽しさや思い切り体を動かす心地よさを味わう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夢中になって力いっぱい元気に遊ぶ。 ・いろいろな遊びや興味や関心をもち主体的に物事にに関わり活動する。 ・友達との関わりを通して、互いの思いや考えに気付く。 	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度よりなかよしグループをつくり、異年齢との関りが広がる活動を取り入れた。遊びや生活の中で年長児が年下の学年を気遣う姿や憧れをもって関わる姿が見られ優しさや思いやりの気持ちも育まれている。 ・主体的に遊びこむ環境づくりを心がけ、援助や環境構成を職員間で連携を図りながら育ちを支えていく。 ・自分の思いばかりを主張するのではなく、相手の思いにも寄り添えるような関わり方を促していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会性を学ぶ初めての場所である。様々な人との関わりの中で相手のことを思いやることのできる機会をもち、人を思いやることのできる芽を育ててほしい。 ・様々な立場で関わる教師がいるが、こどもの内面理解をしっかりと行い、一人一人の思いに寄り添い、こどもの心の思いに気付いて支えていけるように教師間の連携を深めてもらいたい。 	<p>B</p>
<p>身近な自然に親しみをもつ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然に触れ、それを使って遊んだり興味や関心を広げたりする。 ・自然の不思議さを感じ、調べたり確かめたりする。 ・生きものと遊んだり、世話をしたりする中で生命の尊さに気付く。 	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3歳児も野菜や花を一人一鉢で栽培ができるように活動を進めてきた。苗から生長していく様子を見たり、収穫を楽しみにしたりすることで興味や関心をもって世話をすることができた。 ・東神吉小学校での校庭遊び、また地域の畑や公園への散歩など園外に出かける機会を積極的にもち、自然に触れての発見や感動体験を味わえた。今後も安全管理を図り、自然に触れる環境づくりを心がけたい。 ・園児と一緒に植えたい野菜や花について相談する機会をもちいろいろな種や苗を用意するなど、環境づくりを職員間でも意識できるように取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・何が課題かを理解し、園全体で積極的に環境づくりを行ったり、自然に触れる機会をもとと園外に出かけたりしている。こども達の心の育ちにつながっていくように今後も続けて取り組んでほしい。 	<p>A</p>
<p>最後まで諦めずにやろうとする意欲をもつ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分なりの目標に向かっていろいろな遊びに挑戦し、できた喜びや達成感を味わう。 ・難しいと感じることで自分なりに考えたり、工夫したりして取り組み、満足感や達成感を味わう。 	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹馬やパカポコに何度も挑戦する姿を最後まで励まし、気持ちに寄り添うように努めた事でできた喜びや達成感を味わう経験に繋がった。 ・意欲や自信につながる言葉かけや環境構成を図りながら消極的であったり諦めたりするこどもの意欲を高めることにつなげてきた。 ・個人差が大きく、気持ちが続きにくい幼児もおり、一人一人の発達段階に適した関わり方を探り、職員間で共有していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な活動においてそれぞれの年齢に添った教材を使用したり、遊びの環境づくりができており、各クラスのこども達が無理なく楽しんで取り組んでいる。 ・最後まであきらめないでやり抜くためには、一人一人のこども達に適した声かけが必要である。引き続きやってみようと思える声かけを工夫してほしい。 	<p>A</p>
<p>自分らしさをのびのびと表現する力を培う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びや生活の中で様々な人や身近な自然との関りから感じたことや、考えたことを伝えたりして自分の気持ちを素直に表現する。 ・心を動かす出来事にふれ、友達に伝えたいと感じたり、表現したりする喜びを味わう。 	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども達が安心してやってみよう遊びや活動に取り組める環境をつくり、様々な体験を通して感じたことを自分なりに言葉や身振りで伝えようとする姿を認めることで、友達同士で表現する過程を楽しんだり、共感できる喜びを味わったりできるようになってきた。今後も自分の思いを相手に伝えようとする意欲をもてるよう支えていきたい。 ・クラスの話し合いや行事に向けての取り組みの中で、友達の考えにも気付く経験をした。自分の思いを通すのではなく、友達の考えに気付き、相手の良さを認めていくことで関りを深め、遊びを広げる喜びを感じるきっかけになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こども達が意欲的に活動するためには、一人一人が安心して園生活を過ごせるように先生との信頼関係を築き、あたたかい雰囲気の中で自己が発揮できるようにしてほしい。心を動かす感動体験をするには実際に触れたり、経験したりできる環境が大切。また、一人一人の感じ方も様々であるため、じっと見ることができないような時間の確保も必要と思われる。気づいたり、感じたりすることが豊かな感性を育み、人格形成の基礎となる。こども園での活動が大切な機会であることを認識し、こども達に向き合っしてほしい。 	<p>A</p>